

2017世界卓球選手権デュッセルドルフ大会(個人戦)男子日本代表選手選考基準

- ・大会期日：2017年5月29日～6月5日、ドイツ：デュッセルドルフ
- ・エントリー数：男子シングルス3～5名、男子ダブルス2ペア、混合ダブルス2ペア
- ・シングルスは各協会原則出場枠が3名となる。しかし以下の条件をクリアすれば出場枠がその協会に対し最大2名追加される。
 - 2017年1月世界ランキング(以下WR)100位以内にその協会の選手がランクインしていれば1名出場枠が追加される
 - 2017年1月WR20位以内にその協会の選手がランクインしていれば1名出場枠が追加される

1. 男子シングルス代表5名の選出方法

- (1) 2017年1月発表のWR20位以内の最上位選手：(1名)
- (2) 2017年1月発表のWR100位以内の最上位選手：(1名) ※(1)のWR20位以内最上位選手を除く
- (3) 国内選考会優勝者：(1名)
- (4) 平成28年度全日本卓球選手権大会男子シングルス優勝者：(1名)
- (5) 2016年1月1日～12月31日までの国際大会(世界選手権、オリンピック、オリンピックアジア大陸予選会、ワールドカップ、アジアカップ、ワールドツアーファイナル、ワールドツアー、世界ジュニア、アジアジュニア)においてWR30位以内の選手(同一選手および日本選手は除く)6名以上に勝利した選手の中から強化本部で評価した選手：(1名)
- (6) 強化本部推薦(若干名)
 - 上記(1)～(5)において該当者が5名に満たない場合および選手が重複した場合は、次の2点を勘案し強化本部にて決定する。
 - イ. 国際競争力の実績と評価。 ロ. 国際競争力向上への高い潜在性があると思われる選手。

2. 国内選考会の出場資格(但し、下記*に該当するITTFの定める世界選手権出場資格を有する者)

*開催日程：平成28年12月23日～25日(於：福島県 郡山市)を予定。競技方法等の詳細は後日通知。

- 1) 2016年12月発表のITTFワールドランキング50位以内の選手
- 2) 平成27年度全日本卓球選手権大会シングルスベスト8の選手。
- 3) 平成28年度国民体育大会成年男子の部優勝チームメンバー(補欠は含まない)。
- 4) 平成28年度全日本社会人卓球選手権大会シングルス2位以内の選手。
- 5) 平成28年度全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)シングルス2位以内の選手。
- 6) 平成28年度全日本学生選抜卓球選手権大会2位以内の選手。
- 7) 平成28年度全国高校総合体育大会シングルス2位以内の選手。
- 8) 平成27年度全日本卓球選手権大会ジュニアの部2位以内の選手。
- 9) 平成28年度全国中学校卓球大会シングルス優勝者。
- 10) 平成28年度全日本卓球選手権大会カデットシングルス(13・14才)の部各優勝者。
- 11) 強化本部推薦(若干名)。

3. 出場種目 *代表選手の出場種目ならびにペアリングは強化本部で決定する。

- 1) シングルス：3～5名
- 2) ダブルス：2ペア
- 3) 混合ダブルス：2ペア

*ダブルス及び混合ダブルスには、シングルス代表選手の他、3名を上限として加えることがある。

4. 補足基準

代表決定者が故障等で参加が不能となった場合、その代替選手は次の2点を勘案し強化本部にて決定する。

- イ. 国際競争力の実績と評価。 ロ. 国際競争力向上への高い潜在性があると思われる選手。

*なお、他の国と地域の協会から日本卓球協会へ登録を移籍した選手は、ITTFの定める世界選手権出場資格要件を満たしていることが、選考の前提条件となる。

以上

2017世界卓球選手権デュッセルドルフ大会(個人戦)女子日本代表選手選考基準

- 大会期日：2017年5月29日～6月5日、ドイツ：デュッセルドルフ
- エントリー数：女子シングルス3～5名、女子ダブルス2ペア、混合ダブルス2ペア
- シングルスは各協会原則出場枠が3名となる。しかし以下の条件をクリアすれば出場枠がその協会に対し最大2名追加される。
 - 2017年1月世界ランキング(以下WR)100位以内にその協会の選手がランクインしていれば1名出場枠が追加される
 - 2017年1月WR20位以内にその協会の選手がランクインしていれば1名出場枠が追加される

1. 女子シングルス代表5名の選出方法

- (1) 2017年1月発表のWR20位以内の日本人最上位選手：(1名)
- (2) 2017年1月発表のWR100位以内の日本人最上位選手：(1名) ※ (1)のWR20位以内の日本人最上位選手を除く
- (3) 国内選考会の優勝者(1名)
- (4) 平成28年度全日本卓球選手権大会女子シングルス優勝者(1名)
- (5) 「平成28年女子勝利ポイント制」を適用して上位から順に選手を選出する。(最大2名)
(女子勝利ポイント制は、従前の内規を修正し、平成28年4月4日に開催される第1回女子ナショナルチームスタッフ会議にて決定する。)

2. 国内選考会への出場資格(但し、下記*に該当するITTFの定める世界選手権出場資格を有する者)

*開催日程：平成28年12月23日(金)～25日(日)(於：広島県 広島市東区スポーツセンター)

- 1) 平成28年度NT選手およびNT候補選手
- 2) 平成27年度全日本卓球選手権大会シングルスベスト16の選手
- 3) 平成28年度国民体育大会成年女子の部優勝チームメンバー(補欠は含まない)
- 4) 平成28年度全日本社会人卓球選手権大会シングルスベスト4の選手
- 5) 平成28年度全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)シングルスベスト4の選手
- 6) 平成28年度全日本学生選抜卓球選手権大会ベスト4の選手
- 7) 平成28年度全国高校総合体育大会シングルスベスト4の選手
- 8) 平成27年度全日本卓球選手権大会ジュニアの部ベスト4の選手
- 9) 平成28年度全国中学校卓球大会シングルス優勝者
- 10) 平成28年度全日本卓球選手権大会カデット(13・14才)の部各優勝者
- 11) 平成28年度全日本卓球選手権大会ホープスの部優勝者
- 12) 強化本部推薦(若干名)

3. 出場種目 *代表選手の出場種目ならびにペアリングは強化本部で決定する。

- 1) シングルス：3～5名
- 2) ダブルス：2ペア
- 3) 混合ダブルス：2ペア

*ダブルス及び混合ダブルスには、シングルの代表選手の他、3名を上限として加えることがある。

4. 補足基準

代表決定者が故障等で参加が不能となった場合、その代替選手は「平成28年女子勝利ポイント制」を勘案し強化本部にて決定する。

*なお、他の国と地域の協会から日本卓球協会へ登録を移籍した選手は、ITTFの定める世界選手権出場資格要件を満たしていることが、選考の前提条件となる。

以上